

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	マラッカ・シンガポール海峡航行安全対策	事業開始年度	平成20年度	作成責任者
担当部局庁	海事局	担当課室	外航課	課長 篠部 武嗣
会計区分	一般会計	上位政策	海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-	

事業の目的
(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)

①マラッカ・シンガポール海峡において航路を閉塞する大規模海難の発生件数をゼロとする。
②マラッカ・シンガポール海峡は、我が国の輸入原油の約8割が通過することから、我が国経済・国民生活にとって極めて重要な海峡である。最大の海峡利用国である我が国としては、国連海洋法条約に基づき、海峡沿岸国と利用国の協力のあり方を具体化した「協力メカニズム」の下、海峡沿岸国提案の支援要請プロジェクトを推進し、同海峡の安全確保等に貢献することを目的とする。

事業概要
(5行程度以内。別添可)

マラッカ・シンガポール海峡を安全に航行するために同海峡に設置されている灯台等航行援助施設のうち、滅失や破損等により正常機能を喪失しているため早急な整備が必要なものを対象とする現地調査を行い、当該施設の修繕や代替工事に要する費用額の積算、代替施設の構造設計等を行う。
また、同海峡の通航量の増加に伴い船舶衝突の危険性も増大していることから、動静把握が困難な小型船舶を動きを把握するシステムについて実証実験を行い、そこで得られたデータを分析し、同システムの本格運用に向けた課題を検証する。

実施状況

・平成20年度においては、既存の航行援助施設のうち、地盤沈下が著しいニバ浮体式灯標(管理国:インドネシア)について、同灯標の代替を行うために、現在、設置されている海域の海底地形・底質や潮流・波浪等の現況を把握し、その結果に基づき代替標識の構造型式案並びに設置工事に要する概算費用の積算案を作成した。(7百万円)また、同海峡沿岸国などで実施された小型船舶用の動静把握システムの実証実験を行い、データの収集整理等を行った。(9百万円)
・平成21年度においては、2003年に設計寿命に達しているセパット浮体式灯標(管理国:マレーシア)他2カ所について、同様に調査等を行った。(25百万円)また、前年度実施された小型船舶用の動静把握システムの実証実験データ等から同システムの導入に向けた課題等を取りまとめた。(9百万円)

予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	25	47	34	
	執行額	-	16	39		
	執行率	-	64.0%	83.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		

支出先・用途の把握水準・状況

支出先については、海外現地の施設の現状や、海峡沿岸国の要望等を踏まえ作成された調査案に従って、一般競争入札を実施し、民間事業者(調査会社等)の選定を行っている。
海事局において、契約している相手方から報告書を提出させることにより事業実施内容を把握している。

自己点検

見直しの余地

・多くの大型船舶が頻繁に航行するマラッカ・シンガポール海峡における航行援助施設の機能喪失は、大規模な海難に発展する可能性があることを踏まえ、同施設が適時適切に修繕や代替されることは非常に重要であり、我が国の技術・経験を活用した本事業への海峡沿岸国のニーズは引き続き高い。今後は、限られた予算の中でより効率的な実施を検討する。(なお、調査結果については、協力メカニズムによる施設整備に生かされている。)
・一方、海峡沿岸国による自立的な同海峡の航行安全確保体制の確立や活動のために、航行援助施設の維持・管理などについて沿岸国自身の人材育成に対するキャパシティ・ビルディングなど我が国の協力へのニーズも高くなってきており、このような新しいニーズへの対応について検討する。

予算監視の効率化

補記

【予算科目】

038 総合的物流体系整備推進費		
95 総合的物流体系整備の推進に必要な経費	(21年度予算額)	(21年度決算見込額)
95016 - 2129 - 06 諸謝金	0 百万円	0 百万円
95016 - 2122 - 08 外国旅費	1 百万円	1 百万円
95016 - 2123 - 09 総合的物流体系整備推進調査費	46 百万円	38 百万円

国土交通省
39百万円

旅費、謝金
1百万円

物品、消耗品
購入費
4百万円

各事業の企画・立案、
進捗管理・指導

【一般競争入札】

A.(株)セア・プラス
25百万円

マラッカ・シンガポール
海峡に設置されている
航行援助施設(3カ所)
の代替のための事前
調査

【一般競争入札】

B.(財)日本航路標識協会
9百万円

マラッカ・シンガポール
海峡における小型船舶
自動識別装置の実証実
験

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.(株)セア・プラス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	調査機材費等	13			
人件費	業務担当者人件費等	11			
その他	印刷費等	1			
計		25	計		0
B.(財)日本航路標識協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費等	7			
事業費	調査機材費等	2			
その他	印刷費等	0			
計		9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0